

平成28年度浪切ホール企画事業概要							0歳～就学前	小学生以上	妊産婦	障害者・高齢者	その他	自己評価		
No.	公演名	公演日		開演時間	会場	入場者数								
1	人形劇あ・ら・か・る・と	4	2	土	14:00	多目	49	○	○			○	開館以来の定番事業のひとつ。前指定管理者の仕込みで、交代が重なったこと、もう少し入場者を伸ばしたかったところ。	B
2	春らんまんフェスティバル	4	3	日	-	市内各所	164	○	○			○	春の定番事業で、町会館など市内の各所でのイベント。人数の把握が困難だが、地域に定着し、多くの来場者がある。	A
3	せんしゅう亭 ①	4	9	土	14:00	交流	132					○	若手による落語の公演。落語は、集客に安定感があるため、この公演もまずまずの入りであった。	A
4	フジコ・ヘミングピアノコンサート /マキシム・ヴェンゲーロフ	5	12	木	18:30	大	939					○	昨年度に引き続き、前指定管理者の仕込み。交代時期とチケット発売のタイミング、S席の値段設定のためか、予想よりも売れ行きが芳しくなかった。	B
5	大衆演劇岸和田公演 藤美一馬「劇団KAZUMA」	5	19	木	①13:00 ②18:00	小	472					○	昼の公演の販売は好調であるが、夜は苦戦する。安価なチケット代でコストパフォーマンスが高い。年に3度の公演が必要かどうかは検討する課題である。	B
6	オリジナルミュージカル 「命はいのち」	5	21	土	①13:00 ②17:00	小	300				○	○	前指定管理者の仕込み。プロの指導のもと、市民参加型のミュージカルに取組んだ。またライブやブースを開催するイベントも併設し、公演を盛り上げた。入場者を伸ばしたかった。	B
7	しんきげきといっしょ	5	22	日	①13:30 ②16:30	小	319		○			○	吉本の「新喜劇」を子どもを対象に楽しい演目にしあげている。企画がユニークであっただけに、入場者を伸ばしたかった。そのためB評価とした。	B
8	平成28年度松竹大歌舞伎 歌舞伎プレセミナー	5	27	金	14:00	小	105					○	歌舞伎に見識の高いアナウンサーによるレクチャー講座。本番をよりよく鑑賞できるように、また内容が優れているため、もっと入場者を伸ばしたかった。	B
9	桂米朝一門会2016	6	5	日	14:00	大	1,517					○	朝日新聞社との共催であるため、PR力も大きい。また、演者も有名どころで、安定感のある事業。引き続き取り組みたい。	A
10	Sound of Fun time vol.2 ～春の陣～	6	5	日	16:00	小	220					○	地元の若手ストリートミュージシャンの発表の場として取り組んだ。軸となる人物の企画を中心に、また出演者自らチケットの販促に取り組むなど、よりよい公演となった。	A
11	第11回歌声フォークサロン	6	18	土	13:30	交流	74					○	前指定管理者からの継続事業。出演者の固定化や、年に数回公演を実施してきたことからマンネリ感あり。そのため、B評価とし、見直しを図る。	B
12	ズージャーinなみきり vol.12	6	25	土	14:00	小	144					○	同上	B
13	日・台友好の響 台湾新北市青年民族管弦楽団	7	8	金	18:30	小	180		○			○	台湾の青少年を中心とした公演。鑑賞する機会の少ない民族楽器に触れる機会。入場者数は伸ばしたかったところ。	A
14	平成二十八年度(公社)全国公立文化施設協会「松竹大歌舞伎」	7	17	火	12:00 17:00	大	1,148					○	全国の各施設で開催し日程調整の結果、平日の開催となった。メインの演者によってチケット販売の影響が大きい。事業規模からすると入場者数を伸ばしたかった。	B
15	ナミキリ de アローハ2016 ①	7	24	火	13:00	小	122					○	出演者側には非常に好評であることからニーズは高い。前指定管理者からの引き続きの事業。コーディネーターが入り調整をしている。年に3度の公演は多く、見直しを図る。	A
16	ワガノワバレエアカデミー バレエ講座	7	24	火	A:13:00 B:15:00	練習室	72		○			○	約20年以上にわたって実施してきたワークショップ。世界的に有名なアカデミーの講師陣による講座であるが、参加者の減少傾向に歯止めがきかない。	A
17	せんしゅう亭 ②	7	30	月	14:00	交流	94					○	No.3 と同様。	A
18	第24回子ども演劇祭inきしわだ 2016	8	3~7	水 ～ 日	-	小H 他	235	○	○	○		○	各劇団や運営面に関わっている団体等による実行委員会が企画・実施しており、自主的な活動を支援している役割も大きい。PRの工夫により周知されるイベントになる余地を感じる。	A
19	ANRI TOUR LIVE 2016	8	11	木・祝	17:00	大	870					○	公演の決定時期とチケット販売のタイミングから、意外に苦戦した。結果、観客動員数が思ったほど伸びず、1,200席は確保したかったことからB評価とした。	B
20	JAM Project LIVE TOUR 2016 ～AREA Z～	8	13	土	17:30	大	1,376					○	アニソンのライブ。予想以上に好評で、新たなニーズの発見であった。初めて浪切ホールに来たという若い世代が多かった。	S
21	なみきりdeつくろう	8	23・24	火 ～ 水	2日間 4講座	多目	96		○				夏休み中の子どもを対象とした工作系のワークショップ。毎回テーマを変えつつ、申込み者も多く、人気がある。	A
22	綾小路きみまろ! 笑撃ライブ2016	8	27	土	14:00	大	1,507					○	固定ファンが多く、いつも満員になる安定した公演。	A
23	城下町フェア	9	17・18	土 ～ 日	-	祭り	-					○	商工会議所と協力しながら市内外から来る観光客へ、本市の文化・観光・物産を紹介する機会を提供している。一定の効果はあるが、企画の修正が必要である。	A
24	Hiromi Go Concert Tour 2016 NEW WORLD	9	27	火	18:30	大	1,404					○	よりよい席を求めるファンが、これを機に友の会に入会するなど企画事業に果たす役割が大きい。	A
25	BEGINコンサート2016-2017	10	15	土	17:30	大	1,435					○	よりよい席を求めるファンが、これを機に友の会に入会するなど企画事業に果たす役割が大きい。また、この公演はソールドアウトになり、想定以上の効果をあげた。	S
26	FUMIYA FUJII CONCERT TOUR 2016 大人ロック	10	28	金	18:30	大	1,433					○	よりよい席を求めるファンが、これを機に友の会に入会するなど企画事業に果たす役割が大きい。	A

平成28年度浪切ホール企画事業概要							0歳～就学前	小学生以上	妊産婦	障害者・高齢者	その他	自己評価			
No.	公演名	公演日		開演時間	会場	入場者数									
27	中村雅俊コンサートツアー2016「L-O-V-E」～Acoustic Unit～	11	3	木・祝	16:00	大	712					○	ファン層はアーティストと同年代、またそれ以上の世代に向け、企画した事業。今回は、アコースティックであることから1階席のみ販売となったため、入場者数はやや低め。	A	
28	ナミキリ de アローハ2016 ②	11	5	土	13:00	小	420					○	No.15 と同様。	A	
29	第13回ブージャーinなみきり Big Band Jazz Concert	11	12	土	14:00	小	264					○	ジャズのファン層から好評であった。出演者のラインナップによるところが大きく、ほぼ満席であった。	A	
30	大衆演劇 劇団九州男岸和田公演	11	17	木	①13:00 ②18:00	小	550					○	No.5 と同様。	A	
31	MOA展示会	11	18～20	金～日	-	多目	-				○	○	子どもが制作した絵画の作品展。	A	
32	第12回歌声フォークサロン	11	19	土	13:30	交流	42					○	No.11 と同様。	B	
33	せんしゅう亭 ③	11	27	日	14:00	交流	97					○	No.3、17 と同様。	A	
34	雪まろげ	11	30	水	15:00	大	1,301					○	岸和田は演劇の集客が厳しいが、今回は話題性もあったもののベテランの役者、重量感のあるセット、演出などに支えられ、多くの来場者があった。	S	
35	米朝一門精鋭若手会	12	3	土	13:30	小	144					○	精鋭の若手による会。土曜日の昼間でもあり、予想より入場者数が伸びなかった。若手を紹介できる機会として今後も実施したい事業のひとつ。PRの工夫が必要か。	A	
36	Xmasイルミネーション	12	4～25	日	17:00～24:00	祭り	-					○	イルミネーションの設営に多額な費用がかかるが、周辺エリアを代表する風物詩である。	A	
37	Xmasイルミネーション 点灯式	12	4	日	16:30	祭り	-					○	今年度はステージで2組のアーティストが参加し、点灯式を盛り上げた。	A	
38	日本センチュリー交響楽団による シンフォニックシネマ	12	11	日	15:00	大	593					○	親しまれている映画音楽を、オーケストラによる演奏という企画で、スクリーンで聴くとは違う迫力・魅力があった。ただ、チケット発売時期が他のクラシック公演と近く苦戦した。	B	
39	マドカ邦画名作劇場	12	16・17	金～土	13:00	マドカ	62					○	○	長期継続している事業で固定ファンがいる。安価な料金も魅力で古きよき映画。ターゲット層は高齢者である。映写機の老朽化もあり、今後、事業の見直しの時期にきている。	A
40	オーケストラで踊るバレエ・ガラ	12	23	金・祝	15:30	大	465				○	○	アマチュアとプロのオーケストラの競演。新しい取組として評価された。しかし、入場者数の伸び悩みなど課題が残る。	A	
41	平成29年 新春 吉本新喜劇&バラエティーショー	1	8	日	①12:30 ②16:30	大	2,061					○	新春を飾る定番になりつつある吉本新喜劇の公演。ファンが多く、安定して販売される。出演者の顔触れに寄る点は大きい。企画としては安定感がある。	A	
42	レ・フレール ～アンソロジー～	1	22	日	16:00	大	827					○	ピアニストの兄弟による公演。ファンも多く、クラシック公演として800人を動員できる。	A	
43	西本智実指揮・ロイヤルチェンバーオーケストラ演奏会 ～The America～	2	5	日	14:00	大	887					○	No.38にあるように、消費者の取捨選択に、また内容が若干かぶったことでより影響があったものと推察される。	A	
44	第七回しわだ歌謡祭 ～演歌力～	2	24	金	①14:00 ②18:00	大	①1,372 ②1,224					○	毎年、演歌歌手が出演し、固定ファンがいる公演である。	A	
45	田中由也&亜聖樹「OPERA MUSICAL CONCERT 2017」	2	25	土	14:00	小	183					○	声楽の父と、宝塚出身の娘による公演。質の高い公演で内容が充実していたが、公演決定のタイミングと本番までの期間が短期でPRする間が短かった。	A	
46	ブージャーinなみきり vol.14	3	4	土	14:00	小	244					○	No.12、29 と同様。	A	
47	なみきり de アローハ2016 ③	3	11	土	13:00	小	485					○	No.15、28 と同様。	A	
48	GALA -MORTAL COMBAT DANCE LIVE-ダンス公演	3	11	土	19:00	大	800				○	○	買い取り事業ではなく、オリジナルであった点が評価されたヒップホップの公演。プロによる見応えのある演技でクラシックバレエなどとは違うジャンルとして、希少価値のある公演であった。	A	
49	第13回歌声フォークサロン	3	18	土	13:30	特会	59					○	No.11、32 と同様。	B	
50	ライオンズクラブ ダンスコンテスト	3	19	日	13:30	大	-				○	○	前指定管理者から継続している事業。昨今のヒップホップダンスの流行りから、年々規模が大きくなっている。会場の出入りが激しく入場者数の把握は困難だが、参加団体の伸びがある。	A	
51	三館合同企画事業 歌で綴る「桃と赤鬼」	3	19	日	14:00	マドカ	353					○	テーマは岸和田にこだわり、いかに市民が文化芸術に参加できるかを念頭に協議を重ねて実施している。ニーズと若い世代の参加促進が課題。	A	
52	大衆演劇岸和田公演 座長大会	3	24	金	①13:00 ②18:00	小	461					○	No.5、30 と同様。	A	